



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2021年8月10日

上場会社名 株式会社ソルクシーズ 上場取引所 東
 コード番号 4284 URL https://www.solxyz.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾 章
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 金成 宏季 TEL 03-6722-5011
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	6,944	8.5	628	74.6	660	73.1	816	219.0
2020年12月期第2四半期	6,400	△3.8	360	△2.3	381	1.6	255	18.3

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 777百万円 (121.6%) 2020年12月期第2四半期 350百万円 (52.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	67.40	67.16
2020年12月期第2四半期	21.40	21.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	11,559	7,415	58.0	551.54
2020年12月期	11,402	6,815	53.5	507.13

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 6,705百万円 2020年12月期 6,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	8.4	1,000	17.9	1,100	10.1	1,070	80.4	88.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	13,410,297株	2020年12月期	13,410,297株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	1,252,566株	2020年12月期	1,371,026株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	12,112,001株	2020年12月期2Q	11,959,883株

（注）期末自己株式数は、株式給付信託（J-ESOP）制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式79,100株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続きましたが、国内IT投資については、業種による跛行性はあったものの、デジタルトランスフォーメーション投資を中心に堅調に推移しました。

このような環境の中、当社は、効果的な経営戦略推進を図ることを目的として、期初に営業本部の再編等の組織変更を実施し、長期・優良な案件の確保・遂行に努めました。更に、戦略施策として、以下の施策を実施・推進いたしました。

- ① サブスクリプション型の個別クレジット債権管理クラウドサービス「杯王 on Cloud」のリリース
- ② 株式会社ノイマンによる、オンライン学科教習ツール「N-LINE」の自社開発および提供開始
- ③ 「DXイノベーションチャレンジ」にプラチナスポンサーとして参画し、当社グループからも複数チームが参加するなどDX推進人材の育成

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比8.5%増の6,944百万円となりました。セグメント事業別では、次の通りです。

- ① ソフトウェア開発事業の外部顧客への売上高は、クレジット、通信向けSI/受託開発業務が増収となり、同11.6%増の5,259百万円となりました。
- ② コンサルティング事業の外部顧客への売上高は、連結子会社におけるエッジコンピューティング系システム開発支援業務（組込系コンサル業務）が増収となりましたが、受託開発等の上流工程を支援する汎用業務向けコンサルティング業務が減収となり、同1.6%減の576百万円となりました。
- ③ ソリューション事業の外部顧客への売上高は、連結子会社におけるクラウドサービス業務、自動車教習所向けソリューション業務、エッジコンピューティング系開発業務（組込系開発業務）のいずれも増収となり、株式会社インターディメンションズの株式譲渡による減収をカバーして、同0.4%増の1,107百万円となりました。

損益面では、主業務であるソフトウェア開発事業において、稼働率の増加および外注原価率低減による採算改善により、大きく増益となった外、自動車教習所向けなどのソリューション業務においても増益となり、売上総利益は同22.4%増の1,787百万円となりました。この結果、販売費及び一般管理費は採用費の増加等で同5.3%増となったものの、営業利益は同74.6%増の628百万円、経常利益は同73.1%増の660百万円となりました。更に、株式会社インターディメンションズの株式譲渡に伴い、特別利益として関係会社株式売却益82百万円の計上があり、また、過去の株式評価損が認容となり、法人税等合計△93百万円（△は益）を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同219.0%増の816百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は7,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ164百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は4,170百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。これは主に、非上場の種類株式の償還により投資有価証券が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は11,559百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,121百万円となり、前連結会計年度末に比べ731百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金とその他が減少したことによるものであります。固定負債は2,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ288百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,143百万円となり、前連結会計年度末に比べ442百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は7,415百万円となり、前連結会計年度末に比べ600百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は58.0%（前連結会計年度末は53.5%）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は5,212百万円となり、前連結会計年度末に比べ513百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は664百万円（前年同四半期は324百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は59百万円（前年同四半期は184百万円の支出）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出、投資有価証券の償還による収入、無形固定資産の取得による支出の増減によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果支出した資金は91百万円（前年同四半期は180百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純増減額、長期借入れによる収入、長期借入金の返済による支出、配当金の支払額の増減によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,701,592	5,215,360
受取手形及び売掛金	2,164,638	1,791,728
商品及び製品	90,907	84,579
仕掛品	142,931	168,527
原材料及び貯蔵品	2,777	750
その他	121,597	128,322
貸倒引当金	△39	—
流動資産合計	7,224,405	7,389,268
固定資産		
有形固定資産	642,235	626,146
無形固定資産		
のれん	14,250	2,750
その他	908,256	993,069
無形固定資産合計	922,506	995,819
投資その他の資産		
投資有価証券	1,647,956	1,384,591
繰延税金資産	436,682	657,426
その他	528,267	506,349
貸倒引当金	△16	—
投資その他の資産合計	2,612,890	2,548,366
固定資産合計	4,177,632	4,170,333
資産合計	11,402,038	11,559,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	514,278	456,340
短期借入金	860,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	359,584	473,324
未払法人税等	303,082	126,744
賞与引当金	—	47,564
その他	815,631	587,354
流動負債合計	2,852,576	2,121,328
固定負債		
長期借入金	755,206	1,028,214
株式給付引当金	8,119	12,723
退職給付に係る負債	750,949	753,504
役員退職慰労引当金	197,573	207,721
その他	21,905	20,164
固定負債合計	1,733,753	2,022,328
負債合計	4,586,330	4,143,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,494,500	1,494,500
資本剰余金	2,277,286	2,256,473
利益剰余金	2,538,758	3,149,115
自己株式	△793,936	△725,223
株主資本合計	5,516,608	6,174,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	547,247	488,412
退職給付に係る調整累計額	41,636	42,188
その他の包括利益累計額合計	588,884	530,600
新株予約権	1,815	298
非支配株主持分	708,398	710,180
純資産合計	6,815,707	7,415,945
負債純資産合計	11,402,038	11,559,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	6,400,955	6,944,379
売上原価	4,940,195	5,156,410
売上総利益	1,460,760	1,787,969
販売費及び一般管理費		
役員報酬	220,117	223,073
給料	322,949	353,649
賞与	43,571	48,869
賞与引当金繰入額	10,207	10,975
役員退職慰労引当金繰入額	11,772	12,500
退職給付費用	14,747	14,917
法定福利費	72,202	80,226
地代家賃	33,272	29,599
支払手数料	78,822	91,391
のれん償却額	22,744	11,500
その他	270,134	282,315
販売費及び一般管理費合計	1,100,542	1,159,019
営業利益	360,217	628,949
営業外収益		
受取利息	421	4,608
受取配当金	11,735	9,299
デリバティブ評価益	—	4,450
投資事業組合運用益	5,052	—
補助金収入	8,520	16,972
その他	4,326	7,312
営業外収益合計	30,056	42,643
営業外費用		
支払利息	6,973	7,557
デリバティブ評価損	1,560	—
投資事業組合運用損	—	3,300
その他	76	193
営業外費用合計	8,609	11,051
経常利益	381,665	660,541
特別利益		
投資有価証券売却益	11,061	—
関係会社株式売却益	—	82,484
特別利益合計	11,061	82,484
特別損失		
固定資産除却損	3	17
その他	—	381
特別損失合計	3	398
税金等調整前四半期純利益	392,723	742,627
法人税、住民税及び事業税	112,658	101,973
法人税等調整額	11,653	△195,021
法人税等合計	124,311	△93,047
四半期純利益	268,412	835,675
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,527	19,292
親会社株主に帰属する四半期純利益	255,884	816,383

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	268,412	835,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,986	△58,834
退職給付に係る調整額	331	551
その他の包括利益合計	82,317	△58,283
四半期包括利益	350,730	777,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	338,202	758,099
非支配株主に係る四半期包括利益	12,527	19,292

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	392,723	742,627
減価償却費	115,429	145,453
のれん償却額	22,744	11,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△49,270	12,347
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△11,838	3,350
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	2,722	4,604
賞与引当金の増減額 (△は減少)	46,112	49,200
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△16
受取利息及び受取配当金	△12,156	△13,907
補助金収入	△8,520	△16,972
支払利息	6,973	7,557
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△82,484
投資事業組合運用損益 (△は益)	△5,052	3,300
投資有価証券売却損益 (△は益)	△11,061	—
デリバティブ評価損益 (△は益)	1,560	△4,450
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	381
固定資産除却損	3	17
売上債権の増減額 (△は増加)	382,279	343,917
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△117,202	△37,676
仕入債務の増減額 (△は減少)	△133,527	△26,165
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31,407	△65,313
その他	△196,904	△174,194
小計	393,596	903,076
利息及び配当金の受取額	12,132	14,236
補助金の受取額	8,520	16,972
利息の支払額	△7,158	△7,515
法人税等の支払額	△82,933	△262,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	324,157	664,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△153	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△34,741
投資有価証券の取得による支出	△986	△26,031
投資有価証券の償還による収入	—	190,764
投資有価証券の売却による収入	13,986	—
投資事業組合からの分配による収入	19,478	14,600
有形固定資産の取得による支出	△21,492	△8,393
無形固定資産の取得による支出	△173,656	△208,132
貸付金の回収による収入	3,400	15,298
貸付けによる支出	△25,000	△3,260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184,423	△59,896

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,000	△300,000
長期借入れによる収入	250,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△211,901	△213,252
自己株式の売却による収入	59,674	50,736
自己株式の取得による支出	△59,631	△39
配当金の支払額	△191,358	△205,608
非支配株主への配当金の支払額	△18,218	△19,789
非支配株主からの払込みによる収入	3,795	2,160
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,213	△4,019
その他	△1,944	△1,329
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,797	△91,142
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△41,063	513,694
現金及び現金同等物の期首残高	5,003,572	4,699,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,962,508	5,212,820

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結範囲の変更を伴う子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社株式会社インターディメンションズの株式を全て売却したことにより、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定について、2020年12月期決算短信の(追加情報)に記載した内容から変更はありません。

ただし、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確実性が高く、今後の経過によっては、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	コンサルティング 事業	ソリューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,711,750	586,398	1,102,806	6,400,955	—	6,400,955
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,423	13,969	122,628	156,021	△156,021	—
計	4,731,173	600,368	1,225,435	6,556,977	△156,021	6,400,955
セグメント利益又は 損失(△)	162,555	57,299	△15,414	204,440	155,777	360,217

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去156,021千円、のれんの償却額△244千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	コンサルティング 事業	ソリューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,259,940	576,837	1,107,601	6,944,379	—	6,944,379
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,579	17,022	79,735	121,337	△121,337	—
計	5,284,520	593,860	1,187,336	7,065,717	△121,337	6,944,379
セグメント利益	428,907	50,461	28,242	507,611	121,337	628,949

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去121,337千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、当社グループの方針である、『デジタルトランスフォーメーションに向けた国内IT需要に対応し、「FinTech」、「CASE」、「IoT」、「Cloud Computing」、「AI」等新しい分野に取り組む』を一層推進するため事業ポートフォリオの見直しを行った結果、報告セグメントを従来の「ソフトウェア開発事業」及び「デジタルサイネージ事業」の2区分から、「ソフトウェア開発事業」、「コンサルティング事業」及び「ソリューション事業」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。